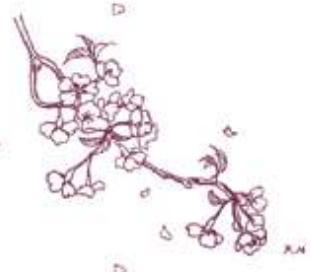


家族で子育て Q&A.④



Q

幼稚園のママ友たちが、自分の子供に“ちゃん”付けで話すのが気になります。

A

身内なら呼び捨てがマナーです。ついでに、母親同士が距離感で戸惑う場合は“ざん”付けになると違和感がなくなりますよ。

“ちゃん”付けは子供中心？

園に「〇〇ちゃん、きょうはお熱があるのでお休みします」などと電話してくる方がいます。が、「〇〇は熱があるので、きょうは休ませていただきます」と言うほうも、きちんとした感じが伝わります。身内と外を区別する、関係性がはつきりします。

同じことで、自分の子供を“ちゃんと”付けで話すことには、違和感を覚えます。身内であれば、他人との会話では呼び捨てにするのがマナーですから。

人前でも自分の子供を“ちゃんと”付け“君”付けにするのは、

子供中心の生活の表れかもしれません。子供をかわいがる気持ちはいいのですが、子供中心の空気が家庭を支配していると、

子供は勘違いして傍若無人になる恐れがあります。子供は王様ではありませんから、万能感を持たせるような大人の言葉遣いは、改めたほうがいいでしょう。

親子間では、「親は子供を呼び捨てにしてよい」とか、「うちは“ざん”付けです」という家庭もあります。それぞれの家庭の考え方があつてよいと思いませんが、もし子供から異議申立てがあれば、子供だからと受け流さず、聞く耳を持つてほし

いですね。

ママ同士は“ざん”付けに

最近は、ママ友同士が“ちゃん”付けで呼びあうこともあるそうです。LINEのプロフィールに名前だけ入れることが影響しているのかもしれません。親近感がわくと言う人もいますが、ママ友との距離感に悩んでいる人には、さらに混乱の種になりそうです。いつそ互いに“ざん”付けにするほうが、風通しがよくなるかもしれません。職場の責任者が、社員を“ざん”付けに統一したことや、職場の空気が一変した事例もあるそうです。